

事業番号	10 05 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ活用推進事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト 9-2-3 信州ブランド確立プロジェクト		課・局・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室		
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1選ばれる観光地づくり 1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H16 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 （ア）地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策の総合的な実施と併せて、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進めるため、民間との協働により信州ジビエのブランド化を目指して総合的なジビエ振興を図り、農山村の活性化に資する。							
現状（予算編成時）	○野生鳥獣の農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況：農林業被害額10億7千万円(H26年度) ○ニホンジカの捕獲頭数が増える中、ジビエの需要量の拡大が課題：H26ニホンジカ捕獲頭数39,506頭、利用推定頭数2,072頭、利用率5.2%							
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】					
	県民との協働による実施： 実施中		県全体で深刻化しているニホンジカの被害対策として県では捕獲対策の強化を図っており、県としても地域の有用資源としてのジビエを有効活用することで、地域振興につなげる取組を推進する必要がある。					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)							
	○ジビエとして利用するニホンジカの頭数 現状(H26) 2,072頭→ 目標(H28) 2,540頭 ○ニホンジカの捕獲目標の達成 捕獲目標 40,000頭：農林業被害額の4割を占めるニホンジカの生育頭数を減少させるため、第二種特定鳥獣管理計画に基づき設定							
	② 事業内容 (単位：千円)							
		項目	実施方法	H28事業実績				
				(当初)	(決算)	H29(当初)		
	信州ジビエ消費拡大事業	委託直接	鹿肉の商品企画化及び鹿革の利用を図るとともに、グランプリの実施により、信州ジビエの需要拡大に努めた。	7,927	5,515	6,861		
	信州ジビエ利用促進事業	委託	ジビエを提供する飲食店情報の整理及びイベント等により、信州ジビエの需要拡大に努めた。		4,975 (繰越)	4,872		
	信州産認証シカ肉供給体制整備事業	補助金・交付金	獣肉処理施設整備数 1件	11,880	11,410	0		
	信州ジビエ人材育成事業	補助金・交付金	信州ジビエマイスター養成講座を実施し、新たに30名を信州ジビエマイスターとして認定した。	2,000	700	1,000		
			合計	21,807	22,600	12,733		
事業コスト	区分(単位：千円)			成果目標の達成状況				
	予算額	前年度繰越		8,000				
		当初予算	24,927	21,807	12,733			
		補正予算		-3,000				
		合計(A)	24,927	26,807	12,733			
	Aの財源	一般財源	2,427	8,927	5,733			
		県債						
		国庫支出金	12,000	17,880	7,000			
		その他	10,500	0	0			
	決算額(B)	14,150	22,600					
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00				
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914				
	概算事業費(B(A)+C)	22,426	30,514	20,647				
	項目	H26末	H27末	H28		H29		
				目標	成果	達成状況	目標	
	ジビエとして利用するニホンジカの頭数	2,072	2,310	2,540	3,348	達成	2,800	
	ニホンジカ捕獲頭数	39,506	31,855	40,000	25,733頭	未達成	40,000	

目標に対する成果の状況	信州ジビエのPR等により需要拡大が図られ、ニホンジカの捕獲頭数は減少したが、処理施設や流通業者等の連携により、ジビエとしての利用頭数は増加した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 信州産シカ肉のブランド力強化や鹿肉以外の活用を促進することにより、捕獲したシカの活用を促進し、野生鳥獣による農林業被害の減少を図っていく。
--------------------	--